

新年早々の喜び... 柘植～亀山間 運行再開!



昨年10月の台風21号被害（線路脇の亀裂と盛土法面の崩壊）で運休となっていた柘植・亀山間の復旧再開が年末に決定。

当地域にとっても早期運行再開は願っていたことであり、急きよ、「柘植駅を核とする公共交通のあり方検討委員会」が主となって関係各方面と調整を行い、催し事を1月9日に開催することにになりました。

当日は、前日から続く雨模様の寒い天候でしたが、早朝より準備を行い、無事6時からせしモニーを実施することができました。



伊賀市の東玄関「柘植駅」をまちづくりに活かそう!

来賓のみなさま（敬称略）

衆議院議員・川崎二郎、同・中川正春、三重県議会議員・木津直樹、同・稲森稔尚、伊賀市長・岡本栄、伊賀市議会議員・山下典子、同・北出忠良、同・赤堀久美

鉄道OB会、蒸気機関車保存会、柘植駅を守る会、西柘植地域まちづくり協議会、壬生野地域まちづくり協議会、伊賀市伊賀支所職員、伊賀市関係課職員

また、再開に尽力いただいた方々（別掲）には来賓としてご臨席賜り、場を華やがせていただきました。

関係者のあいさつの後には、アトラクションとして、鉄道唱歌「関西線バ―ジョン（2階下）」を紹介し再開を祝って歌いました。

2番線、6時29分発の亀山行（始発）には、乗客としてまちづくり協議会関係者らも乗車し、大勢の関係者に見送られながら出発。途中、工事箇所を車窓から見学した後、加太駅で下車し次の列車で戻ってきました。

柘植地域 まちづくりだより 第205号

発行 柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
（柘植地区市民センター内）
〒五一九一四〇二
電話 四五七八八八〇 FAX 四五七八八八三
二〇一八（平成三十）年二月一日（木）

柘植地域俳句コーナー
立春や
若きが呉るる
クイズ本
中西はせと

公共交通のありようは鉄道だけではなく、行政バスなどの課題も多々あり、一朝一夕には進まないのですが、まちづくり協議会が中心になって、関係機関と連携しながら、せっかく当地域にある「草津線関西線・柘植駅」や「名阪国道・道の駅いが」という資産を活かしたまちづくりが進むようにと考えています。

特に「柘植駅」は当地域はもちろのこと、近隣のいがまち・あやま・おやまだを含むオール伊賀市にとつて

伊賀市東の玄関として、「柘植駅」に誇りをもとう

JR西日本大阪支社や亀山鉄道部等もセシモニーに全面協力していただきまし。年末年始の忙しいときであり、準備は不十分でしたが、関係機関との連携の下、記憶に残る行事となったと思います。



改修された現場の様子を見てきました。

も全国のレールにつながる重要なインフラ施設です。

私たち柘植地域は、そういう意味でも市行政や関係機関と協力して、取り組みの先頭に立って進めていく必要があると考えます。セシモニーには、名古屋や大阪からもマスコミが取材に来ていただきました。

今後多くの方が関心を持ってもらえるように願っています。

柘植駅を核とする公共交通のあり方検討委員会



参考アトラクションで使用した歌詞
伊賀焼きいづる佐那具の地、

芭蕉うまれし柘植の駅、

線路左にわかるれば、

迷はぬ道は草津まで

地理教育「鉄道唱歌」

第5集「関西編」の十四番

明治33年11月 作詞：大和田健樹

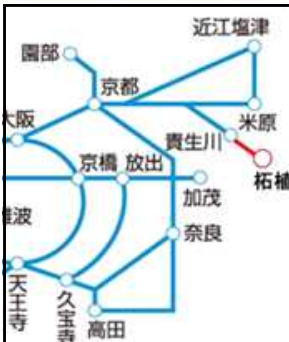


「ICOCA」カード利用エリア拡大

3月17日(土)の始発から
柘植駅でも利用可能になります！

草津線の甲南駅、寺庄駅、甲賀駅、油日駅でも同様に利用できます。

「平成30年春に利用可能になる」とすでに報じられていましたが、このたびJR西日本が正式に開始を発表しました。



※柘植駅においても、ICOCAをはじめとした全国相互利用対象のICカード乗車券(Kitaca・PASMO・Suica・manaca(マナカ)・TOICA・PiTaPa・はやかけん・nimoca・SUGOCA)が利用できるということです。

「柘植駅を核とする公共交通のあり方検討委員会」は原則毎月1回、会議を開いています。

関心のある方はどなたでも参加可能です。

※開催予定日時はまち協ホームページカレンダーをご覧ください。

環境美化の取り組み

冬の不法投棄物撤去作業

生活環境部会

1月20日(土)午前、生活環境部会
員20名が、柘植地域2か所(野村関西
線沿い、霊山麓林道)に分かれて、
不法投棄物の撤去作業をしました。
手作業では処理しきれない投棄物が
多く、今回は重機を使って行いました。

撤去作業手順

- ①不法投棄場所の谷底へ下り、人海戦術でゴミを回収し、各フレコンへ分別投入する。
- ②重機で谷底からフレコンを釣り上げる。
- ③種類別にゴミを各トラックへ積み込む。
- ④処理場へ運ぶ。

※作業を行うのは道路になるため、伊賀警察(柘植駐在所)にも協力していただきました。

また、「地域の清掃活動による不法投棄物等の回収を行う場合や、ごみ集積場における排出者不明の違反ごみを処理する場合」ということで、伊賀市廃棄物対策課とも調整をして廃棄物処理の流れを確認したことで、この取り組みを実施することができました。

人海戦術で、不法投棄ゴミを分別



許すな不法投棄、汚すな私たちのまち!



軽トラ10台と3tトラック1台分のゴミが回収されました。



不法投棄は犯罪です。

5年以下の懲役 もしくは1千万円以下の罰金です。

たとえ廃棄物処分に困っても

「無許可」の回収業者を利用しないでください。

ゴミの不法投棄は断固許しません

まちづくり協議会生活環境部会では、毎月1回、警察と合同で監視パトロールを実施しています。

おめでとうございます

柘植中学校・霊峰中学校区の成人式が、1月7日(日)午後、ふるさと会館いがで開催されました。
 (写真は柘植中出身者のみの記念写真です)



地域一丸となって防災減災を

1月9日(火)午後、三重県伊賀庁舎にて、地域防災について学び、語り合うセミナーが開かれました。当地域自主防災実行委員会の服部文昭さんが、伊賀市を代表するパネリストとして参加しました。



これからも地域みんな防災を!

講師の京大防災研究所の矢守教授は、「阪神大震災でも発生確率は8%以下だったことから、日本中どこであっても警戒が必要」と強調しました。パネルディスカッションでは、伊賀全体としては危機意識や訓練参加率の低さをふまえた住民啓発や訓練を工夫する必要があるとの話が出ました。

自主防災実行委員や初動リーダーをはじめ柘植地域住民全体で協力して防災の取り組みを進めたいと思います。

★★★事務局だより★★★

▼年明け早々の関西線復旧再開は明るい話題でした。地元住民はもとより、各議員さん、JR社員さん、市行政の方々、報道各社のみなさんなど、大勢の方々に見守られて、「伊賀市の東玄関・柘植駅」が9日改めて始動しました。▼20日の生活環境部会主催のゴミ回収は天候にも恵まれ、あくまでほんの一部ですが、きれいにすることができました。こうした過去の恥ずべき遺物を未来に残さぬよう住民総出の手立てが必要です。町田盛次部会長は数日前から廃棄物回収や運搬をしてくださいました。▼また中日新聞が24日付伊賀版で大きく取り上げてくれました。少なくとも地元住民が無責任な投棄をしないことを願いたいものです。

▼私事ですが、7日の成人式に出席、祝辞を述べさせていただきます。みなさんの人生が豊かなものになりますように。(西田方計)

